第２回支部記録長会議を開催！

平成２６年８月３１日（日）静岡市北部生涯学習センターにて、標記会議が開催された。この日の会議には、県下各支部から記録長ら２９名が出席。会議に先立ち、ＮＰＯ法人静岡県ソフトボール協会の中村善治理事長より、予定されている全国大会などにおける今後の展望や、若手の育成を進めて欲しい旨など組織改革にまつわるお話があり、各支部長は熱心に耳を傾けていた。

午前中は、記録員の育成計画に関連し、県記録委員を中心とした話し合いの場がもたれた。各支部の様々な取り組みや事例が発表されるなど、活発な意見の交換がなされた。午後に入ると、派遣の報告や今後の予定、記録員コンテストや認定会の実施計画に至るまで、分刻みのスケジュールで発表や報告が行われた。芦澤忠記録委員長は「ソフトボールは永遠に不滅。記帳できる人の育成の原点は、グラウンドにある。」と語気を強め、若手育成への決意をにじませた。

なお、会合の終わりに、９月２７日から韓国・仁川（インチョン）で開催されるアジア大会へ、公式記録員として派遣される焼津支部・八木美代子さんに花束が贈呈された。